



未見の我…可能性への挑戦

校長 工藤昌雄

4月15日に新入生115名を迎え、全校生徒349名が新たな希望を胸に23年度がスタートしました。他方、沿岸各地では3月11日の東日本大震災により甚大な被害を被り、本校も募金や商業の授業で使う電卓の寄贈に向けて活動しております。水商では、今回の大震災で大きな被害や生徒・教職員の人的な被害はありませんでしたが、改めて被災され方々や犠牲になられた方々に心からお見舞いを申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げたいと思います。今後は被災された方々の思いを共有し、共に手を携え、復旧や復興に、新生岩手を創造するために力を尽くしていきたいと決意を新たにしているところです。

さて、新年度を迎え、水沢商業高等学校として、このような社会状況の中でも、水商の伝統と歴史を継承し、輝く未来に向けて果敢に新たな学校づくりに取り組んでいきたいと思っています。基本的には、商業高校として、さらに専門性を高め、優位制や独自性を明確にし、「スーパー商業高校」を目指していきたいと思っています。

例えば、日商簿記1級や情報処理検定等の国家試験の合格、公務員合格者の増加、優良企業への就職と就職達成率100%の実現、進学希望者への指導の強化、地域の担い手の育成などです。もちろん、「明・浄・直」という校訓にあるように、水商生の明るく真面目で実直な長所はさらに伸ばし、心身ともに健全な心豊かでたくましい人間に成長していくように今後も全人教育に力を尽くしていきたいと思っています。

これらの目標を達成するには、「可能性への挑戦」を基本姿勢として中核にすえ、生徒一人一人の可能性と学校の可能性を拓くことを最重要事項としたいと思っています。そして、このためには、「未見の我…未だ見たことのない自分への挑戦」が必要不可欠です。私達教員は吉田松陰が時代の先駆者を育てたように、また生徒の皆さんは自らの輝かしい未来を切り開くために「未見の我」に全力で果敢に挑戦し、その実現に向けて努力してほしいと思います。

5月行事予定

- | | | | |
|----|----------|-----------------|------------|
| 5月 | 7日 (土) | PTA総会 進路講演会 | 3年保護者進路説明会 |
| | 9日 (月) | 眼科検診 | |
| | 11日 (水) | 前期生徒総会 | 家庭クラブ総会 |
| | 17日 (火) | 1・2年基礎力確認テスト | 3年進路模試 |
| | 16日 (月) | 高総体壮行式・3年平常課外開始 | |
| | 18日 (水) | ～19日 (木) | 応援歌練習(1年) |
| | 20日 (金) | 高総体開会式 | |
| | 24日 (火) | 1年心臓検診一次 | |
| | 25日 (水) | 1・2年hyper-QU検査 | |
| | 26日 (木) | 高総体前期 | |
| | ～30日 (月) | | |
| | 28日 (土) | 県ワープロ競技会 (盛商) | |



待ちに待った入学式！

平成23年度入学式は、全県的な震災の影響を考慮して、当初の予定より一週間あまり日程を遅らせ、4月15日(金)に举行されました。新入生の皆さんやご父兄の方々、また本校職員にとっても待ちに待った入学式となりました。

吹奏楽部の伴奏を伴っての入場では、いよいよ始まる高校生活に対する意気込みが緊張感となって現れ、幾分ぎこちない行進の姿がむしろ新鮮に感じられました。しかし、その後の入学許可の呼名に対する返事は、皆、心の底からこの日を待ちわびていたかのようにとても元気が良く、一人ひとりの声が会場全体に響き渡りました。新入生を代表した情報システム科、菊地秀章君の誓いのことばでは、伝統ある水沢商業高校の一員としてこれからの新生活にける意気込みと同時に、今回の震災で被災された人々へのいたわりと、いまこうして入学式を迎えられたことへの感謝の



気持ちが表されました。天候に恵まれ寒さも緩み、懸念された余震もなく穏やかな入学式日よりでした。

新入生グループエンカウンター実施

4月19日(火)5・6校時に新入生グループエンカウンターを体育館でおこないました。これは1年生115名が対象で、ゲーム的要素を取り入れた様々なエクササイズを通して円滑な対人関係の築き方を学ぶことを目的にしたものです。

この日は敢えて卒業中学のジャージを着用してもらい、自分とは違う中学校出身者とグループを編成するエクササイズを一貫して取り入れていきました。エクササイズの内容は「ナンバーコール」や「ジャンケン列車」など非常に簡単なものですが、そこに社会性のマナーや技術を織り交ぜ、初対面の人との気持ちの良いコミュニケーションの方法を学んでいきました。実施後の感想には「すごく色々な人がいて、盛んに交流がされていたのでいいなと思った。楽しめて、礼儀が学べて、交流も出来たので充実した時間になった。」など、前向きにとらえてくれた生徒が大変多く、一定の効果が得られたことを嬉しく感じました。



高総体地区予選壮行式行われる

4月20日(水)の6校時、第1体育館で高総体地区予選壮行式が行われました。

壮行式では、はじめに生徒会長の小野寺美奈さんから「先輩が流した悔し涙を忘れず、今までの練習で培った努力の成果を全て出し切って欲しい」と挨拶があり、続いて副校長先生から「Concentration(集中)・Change(切替)・Confidence(自信)の必要性」をテーマに選手への激励の言葉がありました。

次に出場する各部の部長から大会に臨むにあたっての決意表明が述べられ、各部とも高総体に対する意欲・意識が高まっているのうかがうことができました。

最後に全校生徒で選手への応援の意味を込め、エールと校歌を歌いました。応援団を中心に声がよく出ており、仲間の声援が出場する選手への後押しとなったことだと思います。

4月22日(金)から始まる高総体地区予選での各部の健闘、活躍を期待しています。



東日本大震災への支援・募金

3月11日に発生した東日本大震災の影響を受け、生徒会執行部では被災された方々に対して何ができるか考え、4月13日(水)～20日(水)の間、生徒昇降口で募金活動と支援物資の提供について呼びかけを行いました。沿岸部では、津波等による被害で教材等が揃わず困っている学校が多いとのことでした。同じ商業系列を学ぶ学校でも電卓が不足しており、授業に支障があることから水商生徒会は沿岸部の学校に電卓を援助することにしました。1週間の募金活動の結果、36,832円を集めることができました。また、電卓については在校生・卒業生・保護者・教職員の方々のご協力をいただき19台の電卓を集めることができました。活動にご協力いただき本当にありがとうございました。

今後も生徒会として沿岸部の学校の情報を得ながら可能な限り教材等の物資の支援をしていきたいと考えております。引き続きご協力をお願いいたします。

